

## 平成 23 年度事業計画

### I. 事業方針

平成 23 年度は、公益社団法人への移行認定の年内申請を目指して、事業内容や運営体制、各種規程などの見直し・作成作業を進める。

公益事業の充実は、公益法人の認定申請を行う上で重要なので、県民の健康づくりや生活習慣病の一次予防などに必要な食生活の啓発普及事業を関係機関、関係団体と連携して内容の充実を図り、県民の健康づくり思想の高揚と食育の推進に努める。

併せて、千葉県健康福祉部担当主管課との緊密な連携の基に、「健康ちば 21」や「千葉県食育推進計画」をはじめとする千葉県の健康づくり施策の推進に協力する。

平成 20 年 4 月から開始された「特定健診・特定保健指導」および 21 年 4 月の介護報酬の改訂を踏まえた地域支援事業への対応などに、会員の講師登録を充実して人材の発掘・育成と活用、各種事業の充実のため関係機関・関係団体などと協力体制の構築に努める。

また、会員の協力を得てインターネット・ホームページを運営し、県民の健康づくりに役立つ各種情報の提供の拡充を図るとともに、管理栄養士・栄養士の業務の充実に関わる情報の提供に努める。

併せて、収入増と経費の節減に努める。

平成 23 年度は、次の事項を重点として事業を実施する。

1. 公益社団法人に必要な体制の整備と申請事務の実施
2. 栄養ケア・ステーション（以下「栄養 CS」）事業の充実
3. 千葉県の行う「健康ちば 21」、「千葉県食育推進計画」などの推進への協力
4. インターネット・ホームページ等による情報の提供
5. 管理栄養士・栄養士の行う業務向上に関する各種研修の充実
6. 職域協議会事業の公益事業化の推進
7. 第三次組織強化長期計画の推進と会員の拡充
8. 収入の確保と経費の節減
9. 関係機関および関係団体との連携強化

## [公益社団法人認定に向けた活動]

平成 20 年度 12 月 1 日に公益法人制度改革関係 3 法が施行され、従来の民法 34 条に基づく社団法人は、「特例民法法人」になり、平成 25 年 11 月末日までに①公益社団法人、②一般社団法人、③解散のいずれかに移行しなければならない。

本会は、食生活の改善などを通じて、住民福祉の向上に寄与することを目的に設立し、昭和 50 年 3 月 6 日に、千葉県知事から社団法人の許可を得た。以来、今日まで管理栄養士・栄養士の専門性の強化を基に、それぞれの職域や地域において、食事の提供や栄養指導などを通じて県民の健康づくりに寄与してきた。

併せて、地域住民に対する各種の栄養改善事業の拡充に努め住民福祉の向上に寄与してきた。このようなことから、新制度においても公益認定を得て真の公益法人にステップアップし、県民に対する食生活の改善に関する事業を充実し、県民の福祉の増進に寄与することとした。

そして、日本栄養士会および都道府県栄養士会と足並みをそろえた公益社団法人への移行に向け、法人法への適合と公益認定のため機構・事業・会計の改革を進めてきた。

平成 23 年度総会において定款変更などの承認を得た後、千葉県の関係部門などの指導を受けながら、公益認定の申請に必要な準備を進め、年度内に申請のための事務を行う。

## Ⅱ．事業内容

### 1．総務部

会議の定例開催により、各種事業の充実と経費の節減に努める。

公益社団法人への移行申請に向け、検討を進め、日本栄養士会などの動向を踏まえながら、年度内の公益法人認定に努める。

#### (1) 平成 23 年度通常総会および特別講演の開催

日 時 平成 23 年 5 月 14 日（土）10 時～16 時

場 所 千葉市美浜区若葉 2-10-1

千葉県立保健医療大学

内 容 総会式典 特別講演 総会議事

## (2) 執行体制の強化

事業・会議の年間予定表を作成し、各種会議を定例的に開催して、事業実施に当たっての要点および留意事項などの理解に努め共通認識に立った会務の執行に努める。

各部との連絡・調整を密にして、各種事業の円滑な執行に努める。

また、職域協議会長会議を開催し、職域協議会事業の充実と相互理解を深める。

## (3) 事務局体制の充実

事務局職員の定着・確保に努めるとともに、業務分担や業務の処理方法などを明確にして、事務局業務の適正・円滑な実施に努める。

公益法人化に向けて「平成20年度公益法人会計基準」に適合した会計処理を行うため会計ソフトを使用した事務処理を行うこととし、税理士の指導・監査を受けて会計事務の適正化と省力化を図る。

併せて、収入増対策と各種事業の経費の節減と節水・節電などの節減対策を徹底する。

## (4) 栄養CS事業の充実

栄養CS運営委員会を定例的に開催し、公益事業の充実強化と事業部および広報部で行っている各種の公益事業の充実を図り、栄養CS事業の強化に努める。

### ① 新規事業の開始と検討

公益社団法人への移行に向けて、現在行っている共益事業の公益事業への移行と新規公益事業の実施が必要になる。昨年度は、現行事業の見直しと各都道府県栄養士会などが行っている各種の栄養CS事業（公益事業）を参考にして、本会が実施できる新規事業の検討を行った。その結果、以下の事業を新規事業として行う。

ア. 「公民館での食育教室・健康づくり栄養（食生活）教室」（仮称）の開催

千葉市内の本会事務所に近い「みつわ台公民館」で高齢者と幼児対象の講演会を年2回試行的に開催して今後継続実施するか検討する。実施に当たっては、総務部を中心に準備を進める。

イ. 健康づくり栄養講座（仮称）の開催

県民向けのわかり易い講座として無料開催する。講座に併せて測定や栄養相談・展示などを行う。細部については、学術部を中心に準備を進める。

#### ウ．健康づくり食生活講演会の開催

現在、千葉県栄養改善大会の特別講演は主催団体会員に限定した研修として行っているが、これを「健康づくり食生活講演会」と改め、会員以外の一般県民の参加を可能として開催する。実施に当たっては事業部・学術部・総務部で準備を進める。

- ② 「健康ちば21」および「千葉県食育推進計画」など推進への協力  
千葉県は、「健康ちば21」、「千葉県食育推進計画」を作成し、その推進に努めている。本会はこれに協力して関係施策の啓発・普及に努める。本会および会員の取組みの実際を会員に周知し、日常的に行っている食事の提供や栄養指導などの業務の拡充・強化を通じて、より多くの県民を対象に「健康ちば21」や「千葉県食育推進計画」に基づく食育を推進する。

これらのほか、学術部、広報部と連携して会員の行っている先駆的な事例などを「千葉県栄養士会雑誌」などを通じて広く管理栄養士・栄養士に広報し、啓発活動の充実に努める。

#### ③ 講師紹介事業の拡充

講師の登録の促進を図るとともに、生涯学習研修会などへ参加を勧奨して知識・技術の向上に努める。併せて、関係機関や関係団体への広報に努め事業の普及を図る。

#### ア．講師登録の推進

平成22年度末に行った23年度分の「講師等登録」に加え、随時登録を受けるとともに、職域協議会の研修会などを通じて、講師候補者の登録の推進を図り、「保健指導」や「介護予防」をはじめとする専門分野における講師（担当者）の確保に努める。

#### イ．研修の勧奨と専門研修の開催

「栄養千葉」や職域協議会などを通じて生涯学習研修会への参加を勧奨する。

特定保健指導を行うために必要な研修は、学術部に協力して行う。

介護予防における栄養改善に関する研修は、生涯学習および福祉協議会などにおいて実施し、登録者に対し受講を勧奨する。

ウ．各種依頼への対応と事業などへの登用

関係機関や関係団体などに対し事業の広報に務め、講師依頼の増加を図る。

各分野の登録を基に、講演・講義、調理実習など各種の依頼に応じて講師を紹介する。また、テレホン栄養相談をはじめとする各種事業実施に際して、講師登録者に協力を依頼して事業の円滑な実施に努める。

引き続き、千葉県社会福祉研修センターの「セミナー」や(社)千葉県調理師会の行う各種研修会などに講師を紹介する。

④ 特定健診・特定保健指導への対応

保健指導対策委員会を定例的に開催し、健診・保健指導の実施状況を踏まえ必要な事項の検討および対応を行う。

平成23年度も学術部に協力し、日本栄養士会の委託事業を活用して保健指導担当者研修会を修了した会員を中心にスキルアップ研修会を実施し、食事指導技術の向上に努めるとともに、関係団体や企業などと連携して人材の活用を図る。

また、関係機関や団体・企業との協力体制の整備と都道府県栄養士会や保健指導対策委員の所属する職場などにおける保健指導の実施状況を把握し、より充実した内容として保健指導を実施できるよう必要な検討と対応を行う。

併せて、関係機関や関係団体との協力体制の整備に努める。

⑤ 介護予防における栄養改善事業への対応

市町村包括支援センターにおける介護予防教室における栄養食生活支援や管理栄養士未配置施設に対する栄養改善サービスを提供するため、関係機関・関係団体への積極的な働きかけを行い、事業の推進に努める。

⑥ 無料職業紹介所の開設準備

栄養CS事業の充実と栄養士の福利厚生、職域の拡充などの観点から、組織部と協力して無料職業紹介所の許可申請と運営に向けて必要な

準備を進める。

(5) 優良会員の顕彰

千葉県栄養改善大会において優良会員の顕彰を行うほか、日本栄養士会総会および全国栄養改善大会などの開催に際し、優良会員を顕彰候補者として推薦し、会員の顕彰に努める。

(6) 協賛会員対策の推進

機関紙「栄養千葉」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載する。また、職域協議会の研修会における展示会の開催の促進を図るほか、日本栄養士会の賛助会員対策を参考にして協賛会員対策の推進を検討する。

(7) 非常災害時支援体制の整備

特定給食施設の非常災害時に備えた体制の整備に役立つ情報の提供を行い整備の促進に努める。

また、地域住民に対する非常災害時の支援活動の方法の検討などを行う。

(8) 職域協議会事務担当者会議の開催

学術部、事業部、組織部、広報部と合同により職域協議会事務担当者会議を午前・午後の1日開催とし、本会の運営と職域協議会の運営に関する基本的な事項、各種業務の理解と周知に努める会議として開催する。

(9) 組織財政問題検討委員会の運営

組織部と連携し、組織財政問題検討委員会を公益法人移行対策委員会と合同で定期的で開催し、第三次組織強化長期計画の推進と公益法人への移行に必要な検討準備を行う。

(10) 会費の自動振込みの促進

会費の早期納入、事務局業務の省力化と徴収時の事故防止の観点から、自動引き落とし依頼者の増加に努める。

(11) 財政基盤の強化

事務所の建設に伴い金融機関から融資を受けたことから、年間約60万円の返済と固定資産税の支払いが生じるなど支出が増加している。また、公益社団法人への移行に向けて、財政基盤の強化が必要である

ことから、役員のほか職域協議会や会員の協力を得て財政基盤強化の基礎となる正会員および協賛会員の拡充確保に努める。併せて、各種事業の経費の節減を推進し、財政基盤の強化に努める。

(12) 栄養士職場問題対応委員会の運営

会員の職場における問題などについて、会員の立場に立って、問題解決に必要な支援を行う。

(13) 千葉支部運営への協力

千葉支部執行部と連絡を密にし、会議の定例開催、研修事業、公益事業など支部事業の円滑な執行に協力する。

(14) 日本栄養士会関係会議への出席

通常総会および法人会員会をはじめとする各種関係会議に出席する。

(15) 千葉県および関係団体の開催する各種委員会、役員会などへの参加

千葉県が行う各種委員会に出席し、健康づくり施策の推進に協力する。また、各種の関連団体と連携協力して健康づくり事業の推進に努める。

(16) 関係機関・関係団体などに対する渉外と関係者の慶弔

千葉県ほか関係機関および関係団体などに対する必要な渉外を行う。また、会員および関係者に対し慶弔規程を基に必要な慶弔を行う。

(17) 栄養教諭の配置促進に関する活動

22年度に行った千葉県教育長、千葉市教育長に対する栄養教諭の配置促進の要望に続けて、栄養教諭を対象に行ったアンケート調査結果を基に関係機関、関係団体に対し、要望活動を積極的に行う。

(18) その他

## 2. 事業部

国や千葉県などの健康づくり施策などを踏まえ、関係機関、関係団体などと協力して「千葉県栄養改善大会」時に県民向け事業として「健康づくり食生活講演会」を行う。また、「健康づくり栄養フェスタ2011」を開催するほか、①食育・健康料理教室の開催、②(社)千葉県調理師会が行う調理師試験対策事業への協力、③NHK千葉FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」への協力などの事業を実施し、県民の栄養と食生

活の改善を推進するための事業を行う。

(1) 第42回千葉県栄養改善大会の開催

県民の食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会）の共催により、千葉県他の後援を得て開催する。今年は公益事業の拡充を目指し、内容の変更を行い関係団体会員を対象とした式典と県民を対象とした「健康づくり食生活講演」などを行う。

日 時 平成23年9月28日（木）

午後1時30分～4時

会 場 京葉銀行文化プラザ音楽ホール

内 容 式典（栄養改善関係功労者の表彰）

優良栄養士知事表彰

優良会員会長表彰

健康づくり食生活講演会

演題・講師・未定

パネル展示・食生活相談

参加者 主催団体会員および一般県民

(2) 健康づくり栄養フェスタ2011の開催

秋の糖尿病週間に合わせ、健康づくりや生活習慣病の予防に必要な栄養・運動・休養を取り上げ内容の充実に努める。

日 時：平成23年11月5日（土）10時～16時

場 所：センシティタワー南北通路（千葉市）

内 容：測定・ミニイベント・展示・相談等

(3) 「健康ちば21」および「千葉県食育推進基本計画」などの推進への協力

① 国および県の策定した健康づくり施策への協力

「健康日本21」および「健康ちば21」、「千葉県食育推進基本計画」などの内容と本会の取り組みを会員に周知し運動を推進する。

会員の職場および地域における業務の充実を通じて、県民に対する食生活の改善や食育に関する働き掛けを強化する。

② 健康ちば協力店推進事業の啓発・普及

平成 14 年度から、栄養成分メニュー表の作成や登録事務、健康ちば協力店推進協議会の開催などの健康ちば協力店推進事業を受託して事業を進めてきたが、22 年度において見直しが行われ、23 年度から栄養成分メニュー表の作成は、登録の必須要件ではなくなり、登録や協議会の運営に関わる事務は、健康づくり支援課において行うことになり、23 年度からは、推進協議会の一員として、事業を推進する。

新しく協力店になろうとする店舗が「栄養成分表示」を行う場合であって、栄養成分メニュー表の作成を本会に依頼する場合は有料で行う。

#### (4) 食育・健康料理教室の開催

前年度までの実施状況などを踏まえ、「食育・健康料理教室実施の手引」の充実を図る。併せて、食育・健康料理教室推進委員会及び講師合同会議を開催し、事業の意義や目的、教室の内容や運営方法などの理解を深め、事業の円滑な実施と内容の充実に努める。

地域活動推進協議会会員などを講師とし、事業部理事、地活会員、事務局員、開催地市町村管理栄養士などと協力して、県内 10 会場において 1 会場当たり 20～30 名を定員として 8 月～12 月の間に開催する。

千葉支部においても市内 2 会場で実施する。

今年度は、「ちばの野菜で、元気もりもり」をテーマとして開催する。

#### (5) 日本栄養士会委託事業の実施

(社)日本栄養士会から委託事業を受託し千葉支部で実施する。

#### (6) 国、県および関係団体などの開催する健康づくり事業に対する協力

##### ① がん予防展開催への協力

千葉県ほかの行う催しの開催に協力し、開催地域の行政および病院栄養士協議会会員の協力を得て、がん予防に役立つ展示とがんや生活習慣病の予防に関する栄養相談などを行う。

日 時 平成 23 年 9 月 10 日 (土)・11 日 (日)

場 所 未定

内 容 未定

② NHK 千葉 FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」への出演

NHK 千葉放送局に協力し、千葉 FM「ひるどき情報ちば・千産千消の食生活『食と健康』」放送計画を作成し、会員の協力を得て食生活の改善に役立つ情報の提供を行う。

(7) 関係機器、図書、教材などの紹介

通常総会および千葉県栄養改善学会のほか、新人研修会開催時に展示会を行う。また、職域協議会研修会などの開催時に展示会開催の促進に努める。併せて、機関紙「栄養千葉」などを活用して優良商品の紹介・普及に努める。

(8) 日本栄養士会事業に対する協力

日本栄養士会の求めなどに応じて、会員の協力を得て栄養ケア・ステーションの運営など事業の実施に協力する。

(9) 職域協議会事業の充実

総務部および学術部と協力し理事会、部長会、職域協議会事務担当者会議などを通じて、職域協議会事業の充実に努める。

(10) 各種事業への協力

① 調理師試験対策事業への協力

(社)千葉県調理師会の行う調理師試験受験準備講習会の開催に協力して、県内各地の会場へ講師を派遣する。

準備講習会の実施に先立ち、調理師試験対策委員会および準備講習会講師合同会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会開催の趣旨、講師を務めるに当たっての留意事項などについて共通理解を深め講習の充実に努める。

また、「平成 22 年度調理師試験問題・正解と説明」の作成を受託し、調理師試験対策委員の協力を得てとりまとめを行う。

② 県内医療団体などが行う事業への協力

医師会・放射線技師会・歯科衛生士会などが主催する行事へ求めに応じて協力する。

③ その他

### 3. 学術部

管理栄養士・栄養士は専門職として常に、新しい知識や技能を習得し自らのスキルを向上させることが重要であり、生涯にわたる研修と勤務年数に応じた、研修が求められており、必要な研修の実施に努める。

(社)日本栄養士会は生涯学習制度を定め、一定期間ごとに見直しを行っている。本会は、こうした日本栄養士会の見直しを踏まえ「生涯学習委員会」において、内容の検討を行って、生涯学習研修会の充実に努めるとともに、栄養改善技術の振興・普及のための千葉県栄養改善学会を開催する。

また、保健指導担当者研修会を修了した会員を対象にスキルアップ研修を開催するほか、県民対象の公開講座健康づくり栄養講座を開催する。

併せて、栄養指導研究所の体制の整備を図り、学術的な情報の提供と会員の調査・研究を支援する。

管理栄養士・栄養士を対象とする事業の開催に当たっては、会員以外にも広く参加を呼び掛ける。

#### (1) 生涯学習研修会の開催

日本栄養士会の定めた「生涯学習制度」による生涯学習研修会を開催する。

今年度は必須科目3単位を含め9単位を5日間にわたって実施する。会員以外の管理栄養士・栄養士の知識・技術の向上に資することを目的として、インターネットなどで参加を公募する。

期 日 平成23年6月11日・26日、7月3日・31日、8月20日

会 場 千葉県立保健医療大学（予定）

内 容 生涯学習制度に定める科目、その他

#### (2) 第12回平成23年度千葉県栄養改善学会の開催

千葉県栄養改善学会を開催し、栄養学の発展と栄養改善技術の振興を図り、会員の技能の向上に基づいた県民に対する栄養改善事業の進展に寄与する。

期 日 平成24年2月18日（土）

会 場 千葉県立保健医療大学（予定）

内 容 特別講演、教育講演（文化講演）、一般口演および協賛会

員による優良商品の展示など

(3) 保健指導担当者等スキルアップ研修会の開催

総務部と連携して、保健指導担当者研修会修了者等を対象にスキルアップを目指した研修会を開催する。

期 日 平成 23 年 10 月 日 (日)

会 場 千葉県立保健医療大学 (予定)

内 容 保健指導の充実に関する講演およびグループワーク

(4) 健康づくり栄養講座の開催

総務部と連携して県民向けに、健康づくりに必要な栄養・運動などの知識の普及を図るためテーマを設けた公開講座を開催する。

期 日 平成 23 年 10 月 23 日 (日)

13 時～16 時

会 場 千葉県立保健医療大学 (予定)

内 容 みつけようあなたに合った健康づくり・食事と運動

(5) 優良図書の紹介

学術部担当理事が分担して、栄養千葉に優良図書の紹介を行い、会員の知識の向上に役立てる。

また、栄養業務に必要であると思われる図書についても栄養改善学会等の機会をとらえて紹介、販売する。

(6) 栄養指導研究所の運営と研究開発および普及

栄養指導研究所運営委員会および栄養指導研究所運営協力者合同会議を開催し、栄養指導研究所の体制整備に努める。また、「千葉県栄養士会雑誌」に栄養業務の改善・充実や「健康ちば21」の推進などに役立つ記事を掲載する。併せて、会員の研究開発などへの支援を行うなどにより、知識および技術の向上を支援する。

#### 4. 組織部

組織部は、組織の基本となる会員を拡充するための対策として、施設名簿などを利用して未加入栄養士のいる施設に「入会のおすすめ」を送付するなどにより入会の勧奨を行う。

また、継続会員の確保を図るため職域協議会の協力を得て、退職者など

の地域活動協議会への勧誘などを行う。

会員の会費納入を円滑化するため郵便局の自動引き落としを勧め、会費の早期納入と未納者の納入に努める。

新人研修会は、昨年度に行ったアンケートの結果を踏まえて第 10 回新人研修会を開催し、新人会員の専門職としての意識の高揚に努める。

#### (1) 会員の拡充

- ① 会費未納者に対して継続入会の働き掛けを行い継続会員の確保に努める。

併せて、継続加入の推進を図るため会費の自動引き落としの勧奨を行う。

- ② 福祉施設、病院などの施設名簿による未加入栄養士への入会案内文書の発送作業を4月の理事会後に行う。
- ③ 県内の4栄養士養成施設に「入会のおすすめ」を送付して、新卒者の入会の勧奨に努めるとともに、行政協議会会員の協力を得て、新卒栄養士や未加入栄養士の入会勧奨に努める。
- ④ 保健所が行う研修会などにおいて、役員の協力を得て未加入者に対する入会の勧奨を行う。
- ⑤ 定年退職により職場を離れる会員に知識経験を生かした活動が継続できることを、研修会などで周知し、継続会員の確保や講師などの登録の増員に努める。また、職域の枠を超えた学習会や研修会の参加の場でも、退会者を防ぐよう声を掛ける。
- ⑥ 「入会のおすすめ」の改定  
記載事項を見直し、作成する。

#### (2) 職域協議会組織担当者会議の開催

職域協議会の組織担当者を対象に会議を開催し、職域協議会ごとの入会勧奨や会員拡充のための情報交換、組織強化対策、新人研修会の運営などについて協議・検討する。

#### (3) 新人研修会開催

新人研修会は、三連休を避けるなど参加しやすい日程を考慮し、10月29日(土)、本会事務所において開催する。

〈研修内容〉

- ① 「栄養士会の組織と事業・職域協議会の活動などの紹介」
- ② 講演 内容未定
- ③ 協賛会員による商品展示と紹介
- ④ 栄養改善奨励賞受賞から1題
- ⑤ ワークショップ 栄養士業務について

(4) 中堅役員研修会の開催

職域協議会事務担当者会議の午前中に中堅役員研修会を開催する。

(5) 就職相談と支援

栄養士・管理栄養士の職域の拡大と福利の増進を図るとともに、社会の要請に対応するための就職相談と支援について無料職業相談所の設置について検討する。

(6) 「第3次組織強化長期化計画」の推進

総務部と連携し、組織・財政問題検討委員会、職域協議会長会議、職域協議会組織担当者会議などにおいて長期計画に定める年次計画が達成できるよう推進に努める。

(7) 公益社団法人への移行

公益社団法人への移行に向けて必要な対応をする。

(8) 中堅会員研修会の開催

中堅会員の研修会の開催について検討する。

## 5. 広報部

会員に対しては、機関誌「栄養千葉」を発行し、各種事業の周知徹底を図るとともに、組織強化および会員の相互理解に役立つよう努める。

併せて、管理栄養士・栄養士の知識・技術の向上に役立てるため「千葉県栄養士会雑誌」を発行する。

また、公益社団法人への移行に向けて、テレホン栄養相談や千葉日報「現代食事考」、インターネット・ホームページの充実などにより、健康づくりや食生活の改善に関する情報の提供を図る。

(1) 機関誌の発行

機関誌「栄養千葉」と「千葉県栄養士会雑誌」を年3回(8月20日、12月10日、4月20日)発行し、関係情報の提供や職域協議会・栄養

指導研究所・千葉支部のニュースなどを掲載し、会務の周知や組織の強化に努める。

#### (2) 千葉県栄養士会雑誌の発行

管理栄養士・栄養士の業務の改善に役立つ内容として、学術文、実践事例報告などを掲載することとし、機関紙「栄養千葉」と同じ月に発行する。内容は、ホームページなどに掲示するなどにより、広報に努める。

#### (3) テレホン栄養相談の実施

テレホン栄養相談担当者の協力を得て、毎週月曜日に県民を対象に食生活全般に関する電話相談を実施する。また、テレホン栄養相談事業の広報活動を行い相談件数の増加につなげる。

実施に当たっては、テレホン栄養相談担当者会議を年2回開催し担当者相互の共通理解に努める。

#### (4) 広報活動の強化推進

「健康日本21」および「健康ちば21」、「千葉県食育推進計画」などの国や千葉県の健康づくり施策を踏まえ、県民の食生活の改善および健康増進思想の高揚や食育の推進に役立つ広報活動の強化に努める。

##### ① 「現代食事考」の掲載

平成4年7月に千葉日報に連載を開始した「現代食事考」は、今年の9月で掲載1,000回目を迎える。今年度も執筆計画を作成し、千葉日報社および会員の協力を得て、引き続き掲載し、県民の健康増進思想の高揚に努める。

平成22年度執筆計画により掲載した内容を冊子として作成し、県内の関係機関に送付し本事業の広報に努めるとともに、執筆担当者に配付して執筆内容の充実に役立てる。

##### ② インターネット・ホームページによる情報の提供

公益社団法人への移行に向けて千葉県栄養士会の公益性を高めるための以下の事項について充実を図る。

- ・トップページを更新する
- ・定款、事業報告、決算報告などの概要を公開する

- ・ 現在掲載している記事を見直し、県民の食生活の改善に関する内容の充実を図る

- ・ 栄養ケア・ステーションに関わる記事を追加する

- ・ 各職域協議会の行う研修会情報をタイムリーに掲載し、会員以外の管理栄養士・栄養士が参加できる機会を紹介する

各職域協議会広報担当者にインターネット・ホームページ運営委員として運営に協力を得て、身近でリアルタイムな情報を提供するため、交代で月に1度更新作業を行う。

トップページをリニューアルして、県民や会員がホームページを利用しやすい内容にする。併せて、委員の技術力の向上のため研修会を行う。

また、ホームページに賛助会員の広告の掲載を検討する。

### ③ 展示用パネルの作成と貸し出し

県内各地域で行われる啓発普及事業の開催・充実を側面から支援するため、食生活の改善や健康づくりに役立つパネルの作成と貸し出しを行う。保有する展示用パネルの種類や内容については、ホームページで見ることができる。

平成23年度 収 入 支 出 予 算

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

I. 事業活動収支の部

(単位:円)

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
1. 事業活動収入							
受取入会金	受取入会金	入会金	150,000	200,000	△ 50,000	150名	
			150,000	200,000	△ 50,000		
			150,000	200,000	△ 50,000		
受取会費	会員受取会費	会員会費	25,940,000	27,820,000	△ 1,880,000	会員2200人、職域重複30人	
			22,090,000	23,720,000	△ 1,630,000		
	協賛会員受取会費	協賛会員会費	22,090,000	23,720,000	△ 1,630,000		
			3,850,000	4,100,000	△ 250,000		
事業収益	大会事業収益	大会分担金	5,470,000	6,250,000	△ 780,000	77口 職域分 436500円含む	
			60,000	60,000	0		
			60,000	60,000	0		
	研修会事業収益	研修会参加費	2,370,000	2,200,000	170,000		
			2,370,000	2,200,000	170,000		
	食育・健康料理教室事業収	食育・健康料理教室材	100,000	2,690,000	△ 2,590,000		
			100,000	2,690,000	△ 2,590,000		
	栄養ケア・ステーション事業収益	栄養ケア・ステーション事	1,100,000	1,300,000	△ 200,000		
			1,100,000	1,300,000	△ 200,000		
	委託事業収益	委託事業収益	470,000	2,690,000	△ 2,220,000		
			470,000	2,690,000	△ 2,220,000		
	研修事業等協賛収益	研修事業等協賛収益	1,170,000	0	1,170,000		
			1,170,000	0	1,170,000		
	広告料収益	広告料収益	200,000	0	200,000		
200,000			0	200,000			
受取寄付金	事務所建設募金収益	事務所建設募金収益	50,000	100,000	△ 50,000		
			50,000	100,000	△ 50,000		
			50,000	100,000	△ 50,000		
雑収益	受取利息	受取利息	401,500	304,000	97,500		
			1,500	4,000	△ 2,500		
	雑収益	雑収益	1,500	4,000	△ 2,500		
			400,000	300,000	100,000		
繰入金収入	他会計繰入金収益	柴田顕彰会繰入金	400,000	300,000	100,000		
			400,000	300,000	100,000		
			20,000	30,000	△ 10,000		
			20,000	30,000	△ 10,000		
事業活動収入計			32,031,500	34,704,000	△ 2,672,500		
2. 事業活動支出							
事業費支出			17,076,903	20,452,222	△ 3,375,319		
	栄養改善大会費	栄養改善大会費	220,000	450,000	△ 230,000	フレホジ、びん、ヘルカム、事例研究他 食事考、みつわ台、ホームページ、食と健康 ※学校、千葉支部含む14会場	
			220,000	450,000	△ 230,000		
	啓発普及費			2,378,094	3,440,000		△ 1,061,906
				466,561	1,000,000		△ 533,439
				478,000	0		478,000
				561,433	0		561,433
				422,100	0		422,100
				100,000	0		100,000
				350,000	0		350,000
				0	2,390,000		△ 2,390,000

千葉支部助成金

0

50,000

△ 50,000

研修会事業費		8,196,037	2,150,000	6,046,037	
	特別研修会	80,000	0	80,000	総会時講演
	生涯学習研修会	858,000	1,500,000	△ 642,000	5日間
	保健指導等担当者研	100,000	0	100,000	
	新人研修会	100,000	200,000	△ 100,000	
	栄養改善学会	400,000	450,000	△ 50,000	
	職域協議会研修費	6,658,037	0	6,658,037	職域協議会研修費の合計
調査研究費		890,000	0	890,000	
	調査研究	890,000	0	890,000	医療機関栄養業務実態調査(病院)、研究紀要(学校)
委託事業費		470,000	2,690,000	△ 2,220,000	
	日本栄養士会委託事業	300,000	1,110,000	△ 810,000	
	千葉県委託事業	0	1,430,000	△ 1,430,000	
	その他委託事業	170,000	150,000	20,000	
栄養ケアアステーション事業費		1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
	栄養ケアアステーション事業費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
機関紙発行費		3,602,772	2,922,222	680,550	
	印刷製本費	1,950,000	2,050,000	△ 100,000	
	通信費	560,000	750,000	△ 190,000	
	原稿料	22,222	22,222	0	
	編集会議費	70,000	100,000	△ 30,000	
	職域協議会会報発行費	1,000,550	0	1,000,550	病院、学校、地活、研教
栄養指導研究所運営費		320,000	430,000	△ 110,000	
	会議費	10,000	10,000	0	
	事業費	300,000	400,000	△ 100,000	千葉県栄養士会雑誌発行費
	雑費	10,000	20,000	△ 10,000	
協議会事業費		0	7,170,000	△ 7,170,000	
	協議会事業費	0	7,170,000	△ 7,170,000	

大 科 目	中 科 目	小 科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費支出	会議費		14,749,206	13,614,300	1,134,906	
			2,340,026	1,200,000	1,140,026	
		総会費	300,000	650,000	△ 350,000	
		理事会費	150,000	150,000	0	
		諸会議費	400,000	400,000	0	
		職域協議会総会費	192,575	0	192,575	
		職域協議会幹事会・委	1,039,451	0	1,039,451	職域分
	日栄参加費	258,000	0	258,000		
	法人運営費		908,800	380,000	528,800	
		顕彰費	20,000	30,000	△ 10,000	柴田顕彰会
		渉外費	350,000	350,000	0	職域、千葉支部3万円
		支払負担金	538,800	0	538,800	会費7.2万円、相談量36万円、防犯契約22.68万円
	人件費		6,930,000	7,050,000	△ 120,000	
		給与・賞与	6,500,000	6,500,000	0	
		交通費	350,000	350,000	0	
		賃金	80,000	80,000	0	
		退職積立金繰入	0	120,000	△ 120,000	
	事務所費		1,606,080	1,850,000	△ 243,920	
		賃借料	900,000	900,000	0	地代
		通信運搬費	250,000	330,000	△ 80,000	電話料
		光熱水費	300,000	300,000	0	
		防犯契約・火災保険	0	250,000	△ 250,000	
		保険料	86,080	0	86,080	火災保険、行事参加保険

	雑費	70,000	70,000	0
--	----	--------	--------	---

需用費		2,430,000	2,590,000	△ 160,000	職域分12万円含む コピー機、印刷機、会計ソフト、パソコン コピー・印刷機用消耗品、 用紙、事務用品
	旅費交通費	120,000	150,000	△ 30,000	
	印刷製本費	150,000	120,000	30,000	
	通信運搬費	360,000	300,000	60,000	
	リース料	700,000	720,000	△ 20,000	
	消耗品費	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	
福利厚生費		450,000	460,000	△ 10,000	
	福利厚生費	450,000	460,000	△ 10,000	
租税公課		84,300	84,300	0	
	租税公課	84,300	84,300	0	
事業活動支出計		31,826,109	34,066,522	△ 2,240,413	
事業活動収支差額		205,391	637,478	△ 432,087	

## II. 投資活動収支の部

### 1. 投資活動収入

#### 特定資産取得収入

	医療機関栄養業務実態調査積立金収入	400,000	0	400,000
投資活動収入計		400,000	0	400,000

### 2. 投資活動支出

#### 特定資産取得支出

	退職給付引当預金	120,000	0	120,000
	医療機関栄養業務実態調査積立金支出	0	0	0
	公衆栄養活動研修会積立金支出	50,000	0	50,000
投資活動支出計		170,000	0	170,000
投資活動収支差額		230,000	0	230,000

固定資産取得支出	什器備品購入支出	什器備品購入支出	0	0	0
投資活動支出計		0	0	0	0
投資活動収支差額		0	0	0	0

## III. 財務活動収支の部

### 1. 財務活動収入

財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0

### 2. 財務活動支出

借入金返済支出	長期借入金返済支出	元金	531,532	507,132	24,400
		利子	51,572	75,972	△ 24,400
財務活動支出計		583,104	583,104	0	
財務活動収支差額		△ 583,104	△ 583,104	0	

## IV. 予備支出

当期収支差額	△ 147,713	54,374	△ 202,087
前期繰越金収支差額	6,535,113	4,146,248	2,388,865
次期繰越金収支差額	6,387,400	4,200,622	2,186,778

特別会計

柴田顕彰会  
平成23年度収支予算書  
(平成23年4月1日から24年3月31日まで)

前年度繰越金	3,020,609 円
収 入	900 円
支 出	20,000 円
翌年度繰越金	3,001,509 円

収入の部

科 目	金 額	摘 要
雑 収 入	900	預金利子
計	900	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
一般会計繰出金	20,000	栄養改善奨励賞
計	20,000	

## 収支予算総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日

科 目	一般会計	柴田顕彰会	内部取引消去	合 計
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
入会金収入	150,000			150,000
会費収入	25,940,000			25,940,000
事業収入	5,470,000			5,470,000
受取寄付金	50,000			50,000
雑収入	401,500	900		402,400
繰入金収入	20,000		20,000	0
事業活動収入計	32,031,500	900	20,000	32,012,400
2. 事業活動支出				
事業費支出	17,076,903			17,076,903
管理費支出	14,749,206			14,749,206
繰出金支出		20,000	20,000	0
事業活動支出計	31,826,109	20,000	20,000	31,826,109
事業活動収支差額	205,391	△ 19,100	0	186,291
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
投資活動収入	400,000			400,000
投資活動収入計	400,000			400,000
2. 投資活動支出				
投資活動支出	170,000			170,000
投資活動支出計	170,000			170,000
投資活動収支差額	230,000			230,000
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0			0
財務活動収入計	0			0
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	583,104			583,104
財務活動支出計	583,104			583,104
財務活動収支差額	△ 583,104			△ 583,104
<b>IV 予備費支出</b>				
当期収支差額	△ 147,713	△ 19,100		△ 166,813
前期繰越収支差額	6,535,113	3,020,609		9,555,722
次期繰越収支差額	6,387,400	3,001,509		9,388,909